

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択 CNS選択必修 助産師必修
担当教員			
◎石田和子、岡村典子、永野光子、柏木夕香			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】 【氏名】 ◎石田 和子 cn.ac.jp 岡村 典子 cn.ac.jp 永野 光子 柏木 夕香	【所属】 新潟県立看護大学 同上 順天堂大学医療看護学部 新潟県立新発田病院 がん看護専門看護師	【研究室】 317	【メールアドレス】 kazukoi@niigata-
【本学の科目区分】 基盤看護分野				
【D P 1】 【D P 2】 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】				
(◎)				

到達目標	1 コンサルテーションの理論を述べることができる。 2 看護職を含むケア提供者に対して実際的な問題を解決するのを助けるためのコンサルテーションに必要な知識について説明することができる。 3 コンサルテーションに必要な面接技術を応用し、実施することができる。
------	--

授業概要	コンサルテーションの基本理論、プロセス、役割機能、ならびに看護学領域におけるコンサルテーションの実際を理解できる。これらを通して、患者や家族、看護職が抱える課題や問題解決のプロセスを共有し、有効な援助が行われる資源として活用されるコンサルタントの役割を理解できる。また、事例検討やロールプレイなど学習方法を駆使して、患者や家族へのケアや組織的な課題を明確化し、具体的なケアに関するコンサルテーションのプロセスを理解し、適切な援助ができることを目指す。そして、看護におけるコンサルテーションの有用な対人関係スキルを理解し、様々な健康問題において的確な判断、指導、対処ができる能力を習得する。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：コンサルテーションの理論① 学修内容：・CNSの役割としての重要性 ・コンサルテーションの定義 ・コンサルテーションのモデル 備考： 石田
	2-3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：コンサルテーションの理論② コンサルテーションの理論③ 学修内容：・コンサルテーションのタイプ ・コンサルテーションのプロセス 備考： 石田
	4-5	授業内容 授業形態：講義 演習 学修課題：CNSによるコンサルテーションの実際 学修内容：・看護師および他職種に対するコンサルテーション ・コンサルタント・コンサルティーの精神・情緒面の相互作用とアセスメント ・コンサルタントの精神衛生と問題への対処 備考： 柏木
	6-7	授業内容 授業形態：講義 学修課題：倫理コンサルテーション 学修内容：・倫理コンサルテーションとは ・必要な能力 ・法と倫理 ・倫理委員会 ・倫理コンサルテーションの実際 備考： 永野
	8	授業内容 授業形態：講義 学修課題：相談・面接の技術と方法①

	<p>学修内容：・カウンセリングの面接技術 備考：岡村</p> <p>9 授業内容 授業形態：講義 学修課題：相談・面接の技術と方法② 学修内容：・人間関係論の観点から感情知性理論を面接に活かす 備考：岡村</p> <p>10 授業内容 授業形態：演習 学修課題：相談・面接の技術と方法③ 学修内容：ロールプレイ カウンセリングの実際を紹介し援助プロセスにおける援助の役割・課題を理解する。 備考：岡村</p> <p>11-13 授業内容 授業形態：演習 学修課題：各領域におけるコンサルテーションの実際（相談事例に関する事例検討） 学修内容：がん看護領域、老年看護領域、その他領域におけるコンサルテーションの実際を紹介し、専門看護への応用的視点を理解する。 備考：石田</p> <p>14-15 授業内容 授業形態：演習 学修課題：各領域におけるコンサルテーション技法の活用と課題 学修内容：各自の看護領域におけるコンサルテーション技法の活用および課題について発表し討議を行う。 事前学習：発表する各領域の対応困難事例のレポートを作成する。 備考：石田</p>
事前・事後学習	事前学習：適宜指示する。 事後学習：適宜指示する。
評価方法、評価基準	到達目標に対して、レポート50%、ディスカッション30%、討議内容20%
テキスト	必要に応じてその都度提示する。
参考図書・資料等	特に指定しない。
受講、課題、資料配布等のルール	講義内容に応じてディスカッションを行う。
教員からのメッセージ	積極的な参加を期待します。授業に関する質問等がある場合メールアドレスにお問い合わせください。
オフィスアワー	石田が窓口となり対応する。事前にメールで連絡すること。